

航路標識用機器の調達・取付・交換



海上交通センター

全国に7箇所ある海上交通センターでは、ふくそう海域において、レーダー、テレビカメラ、AIS等で海域を監視し、航路航行管制、船舶動静確認、情報提供等を行っています。

備讃瀬戸海上交通センター



昭和62年7月運用開始

名古屋港海上交通センター



平成6年7月運用開始

関門海峡海上交通センター



平成元年6月運用開始

東京湾海上交通センター



昭和52年2月運用開始

来島海峡海上交通センター



平成10年1月運用開始

伊勢湾海上交通センター



平成15年7月運用開始

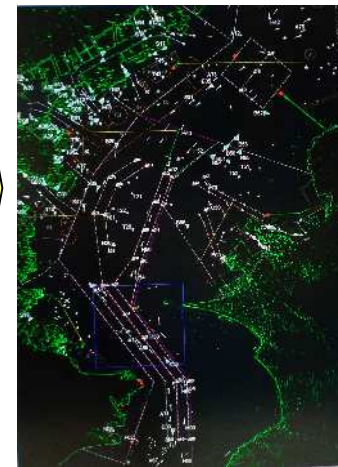
大阪湾海上交通センター



平成5年7月運用開始

設置・改良・維持

- ◆ 機器製造の契約
- ◆ 機器製造の監督・検査
- ◆ システムの設計
- ◆ 機器設置工事の契約
- ◆ 機器設置工事の監督・検査



管制画面



航行管制

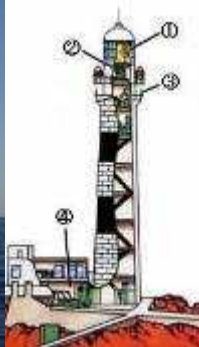
無線通信機器



航路標識用機器の調達・取付・交換



大型灯台



設置
・
改良
・
維持



レンズ
フレネル式レンズにより小さな光源で大きな光力を発します



レーダービーコンアンテナ
船舶レーダーに灯台の位置を知らせるための電波を放射します



太陽光電源システム
自家発電、商用電力から自然エネルギー利用への促進が図られています



防波堤灯台



発光部
頂部の灯ろうに納められたLEDなどにより発光します



制御装置
灯台の光を制御するとともに維持機能の自己診断を行います



電源部
太陽電池装置などの電気エネルギーを蓄電池に蓄え、夜間点灯させます



警報装置
光が消えた時、船が接触した時に管理事務所へ自動的に通報します



浮体式灯標



灯浮標



マーキング装置
船舶が灯浮標に接触した時にペンキを噴射し、当て逃げ船の発見を容易にします